

相応しさの美学

配置とタイミングが人生を整える「TAOISM」の教え



なぜ、正しいだけでは
うまくいかないのか？

「正しさ」だけでは 報われない日常

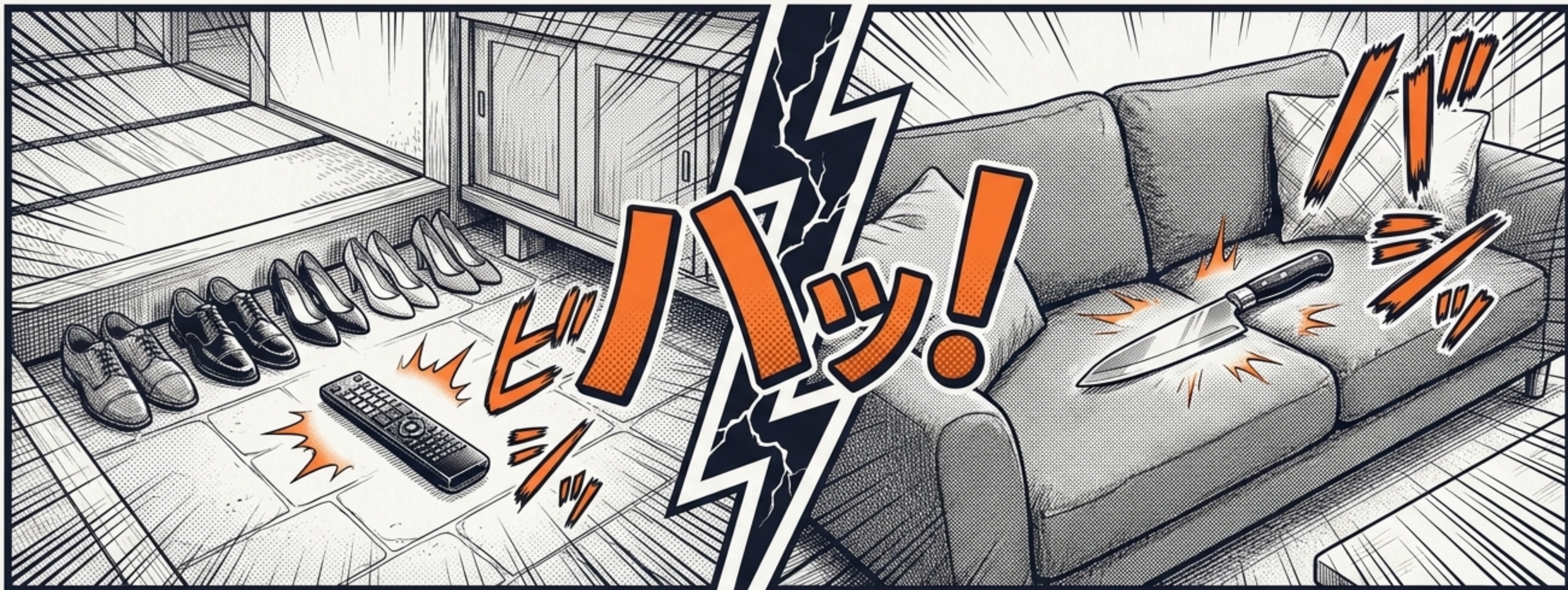
正しいことを
言っているのに、
なぜか伝わらない...



こんなに頑張っているのに、
物事がうまくいかない...


あなたも「正しさの罠」にハマっていませんか？

違和感の正体は「ズレ」にある



モノ自体は間違っていない。でも、強烈な「違和感」がある。それは「配置がズレている」から。

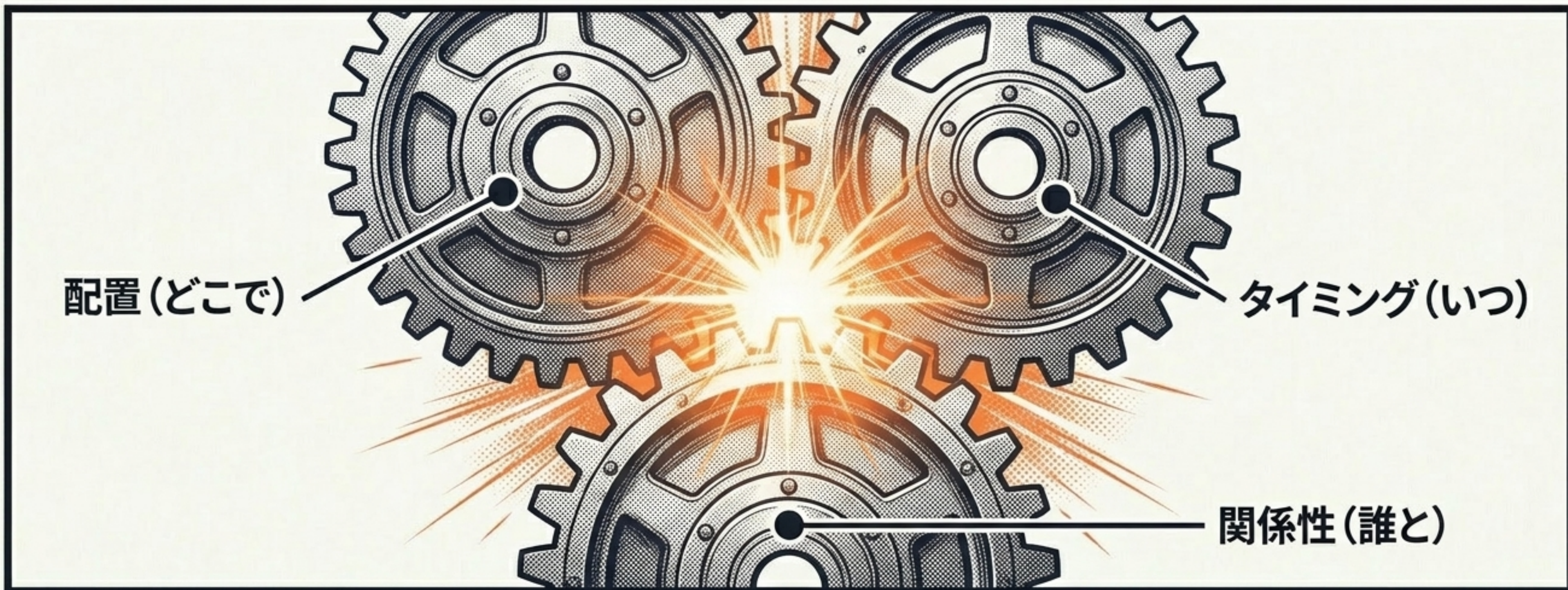
求められているのは「整合性」



「必要なのは
『正しさ』じゃ
なかったんだ……！」

どれだけ正しいことでも、場が違えば不適切になる。「正しさ」だけではなる。
「正しさ」だけでは不十分。求められているのは「相応しさ」である。

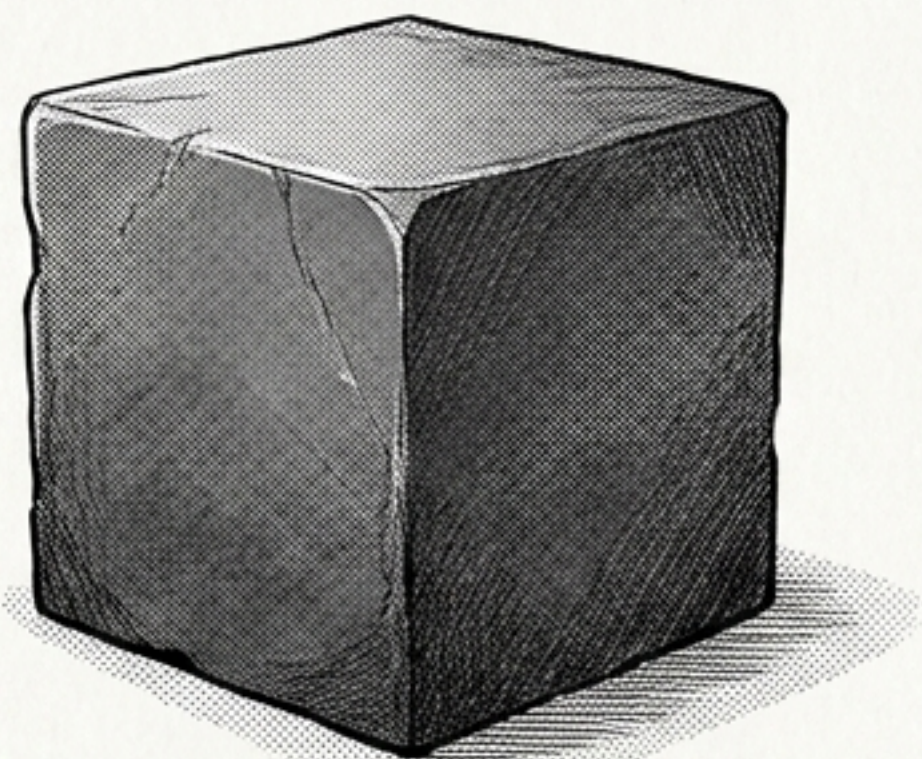
相応しさをつくる3つの歯車



この三つが一致している状態。それが「相応しさ」の本質であり、力を最大化するための配置。

比較：正論と相応しさの違い

正しさ



単体で成立する絶対的なもの

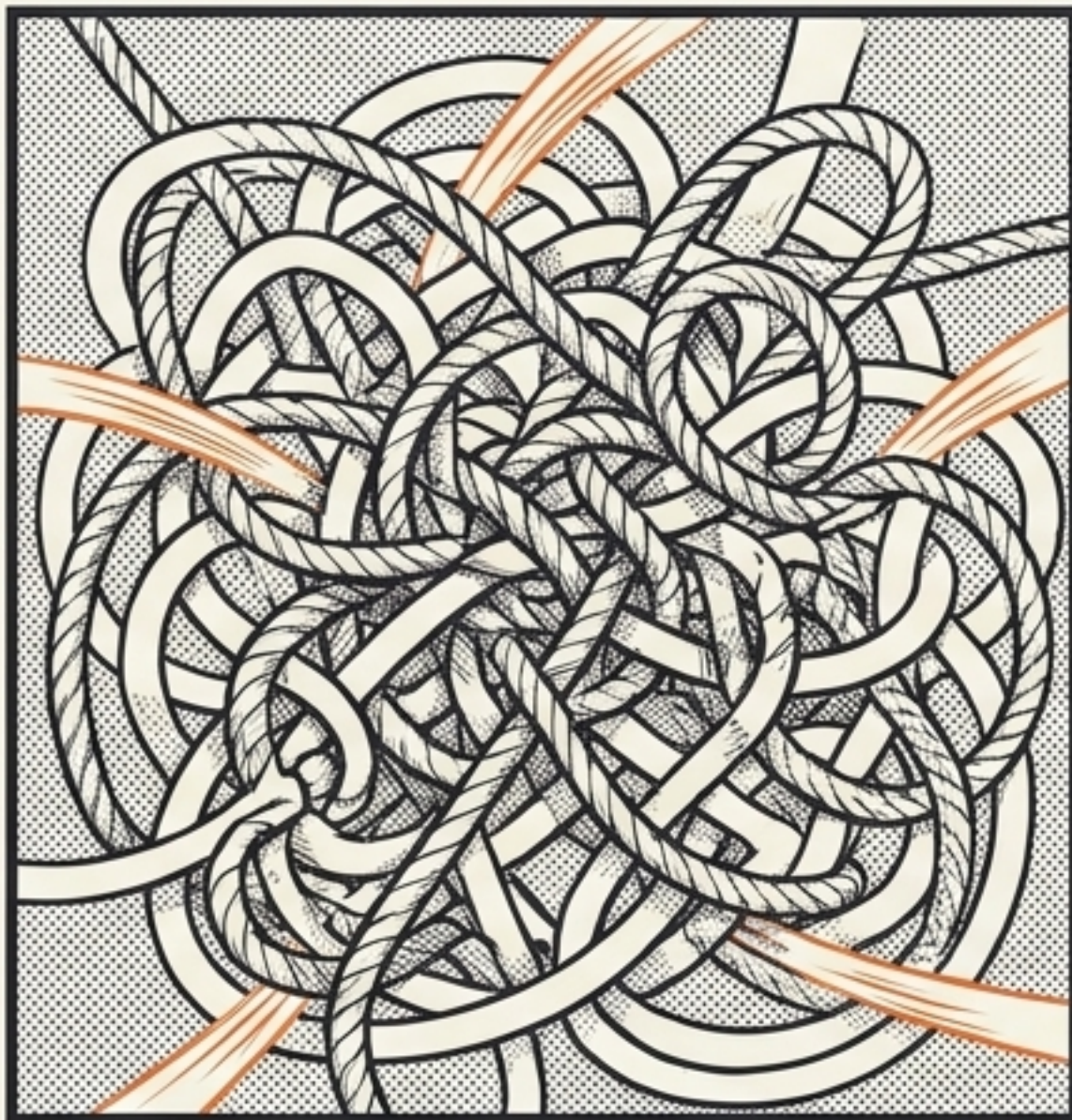
相応しさ



価値観・状態・目的の一致度 (= 整合性)
で決まる相対的なもの

人間関係も同じ。あの人と相応しいかは、感覚ではなく「整合性」で決まっている。

ズレは無駄と摩擦を生む



配置のズレ → 動線が乱れる



タイミングのズレ → 結果が崩れる



関係性のズレ → 信頼が壊れる

どれか一つでもズレると違和感が生まれ、すべてが崩壊していく。

一致がもたらす「流れの発生」

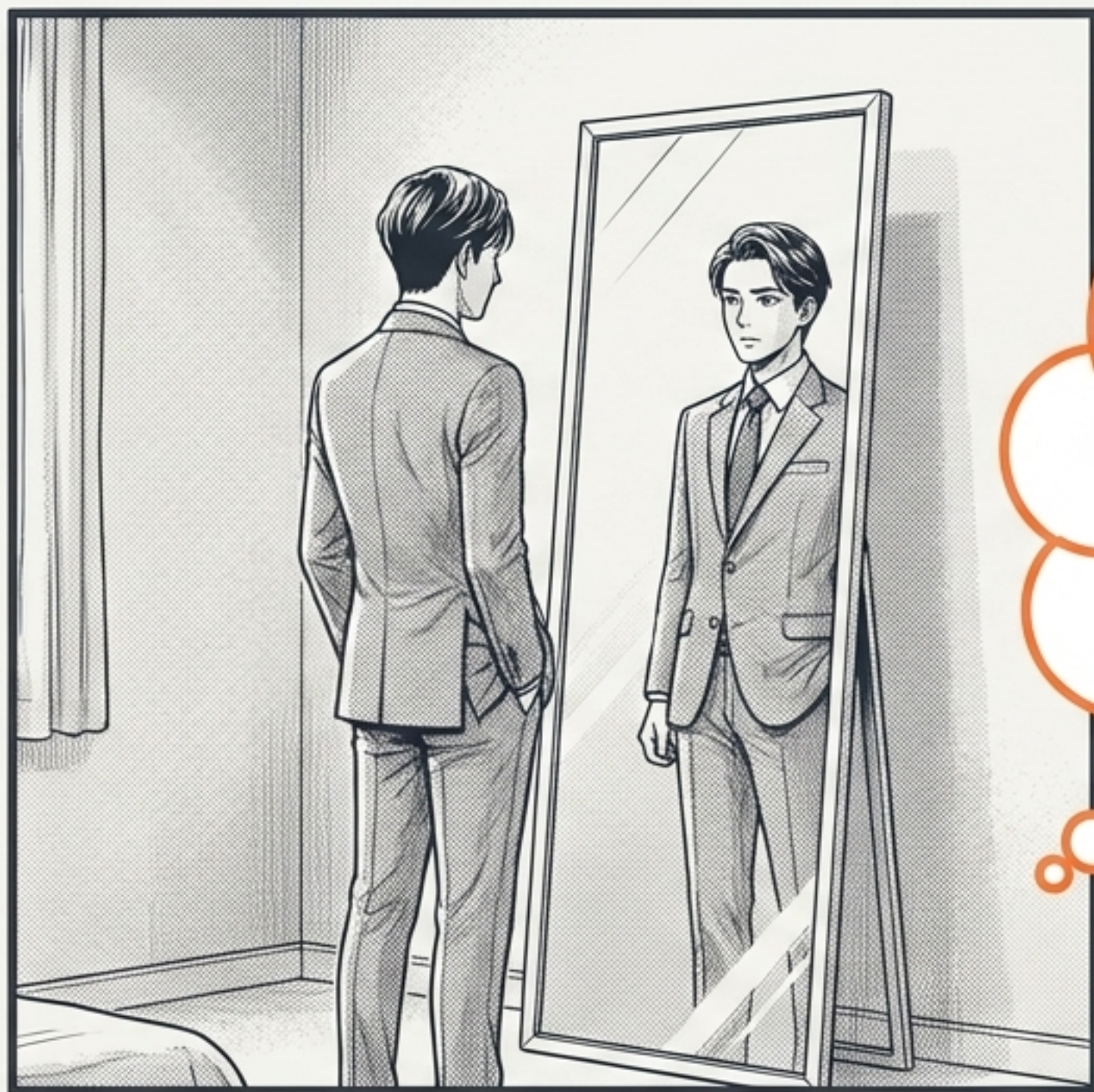
配置が整う。

タイミングが合う。

関係性が整う。

すべてが連動した時、無理が消え自然に「流れ」が生まれる。

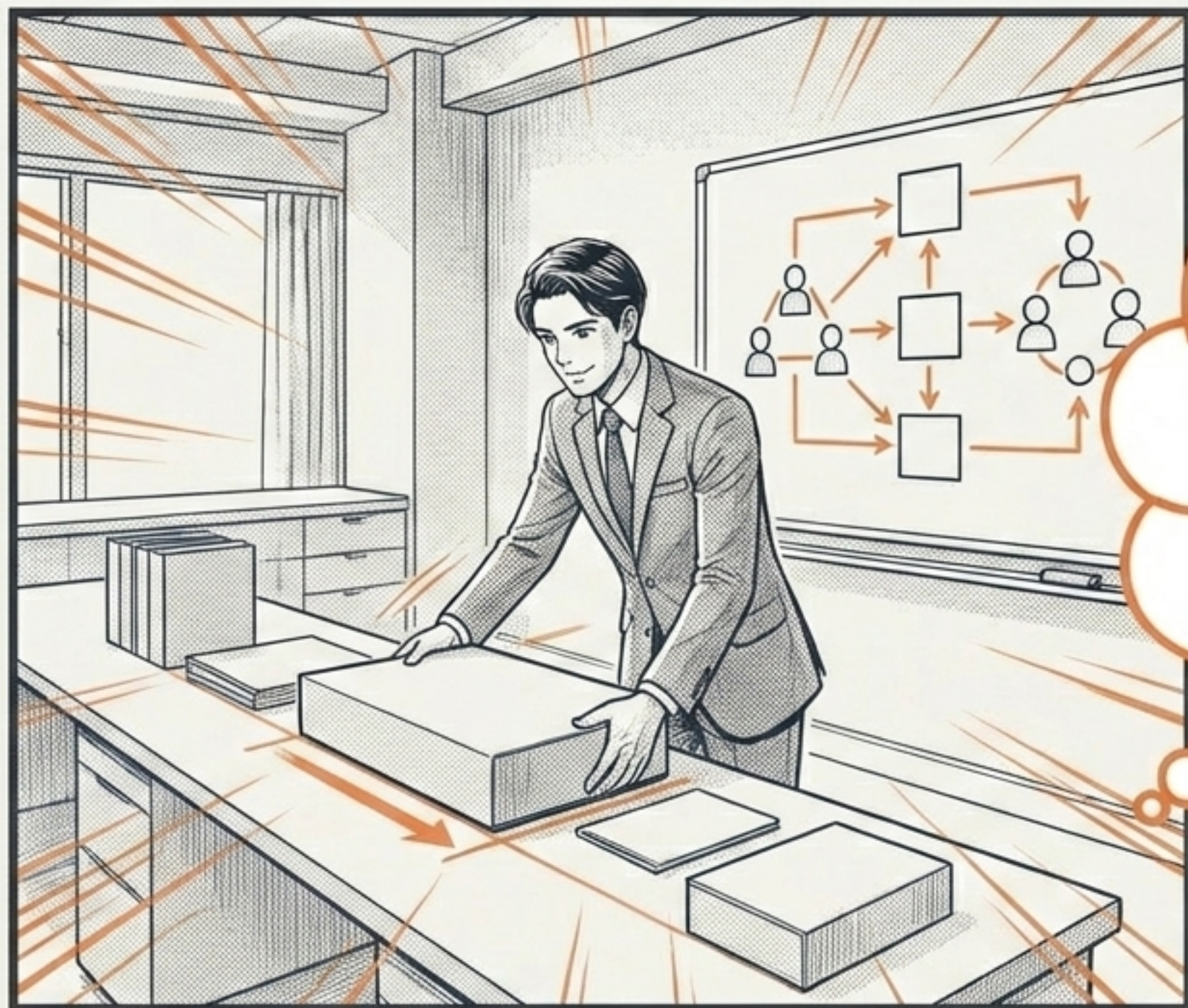
実践ステップ1：自分を観る



- 姿勢は整っているか？
- 言葉は適切か？
- 態度は相応しいか？

まずは己の内面の整合性を問う。

実践ステップ2：配置を整える



- 物は正しい場所にあるか？
- 人は適切な位置にいるか？
- 環境は機能しているか？

空間と人の整合性をデザインする。

実践ステップ3：タイミングを測る



- ・今やるべきか？
- ・今言うべきか？
- ・今動くべきか？

正しいことをするのではない。
正しい場所で、正しいタイミングで行うこと。

人間が陥る最大の「慢心」

「『正しいから通る』
『良いことだから受け入れられる』
…それは人間の慢心だった。」



現実とは違う。合っていなければ、決して通らない。

逃げてはいけない3つの問い



1. 今の自分は相応しいか。

2. この行動は適切か。

3. この場所に自分は合っているか。

常に自分に問う。この問いから逃げないこと。

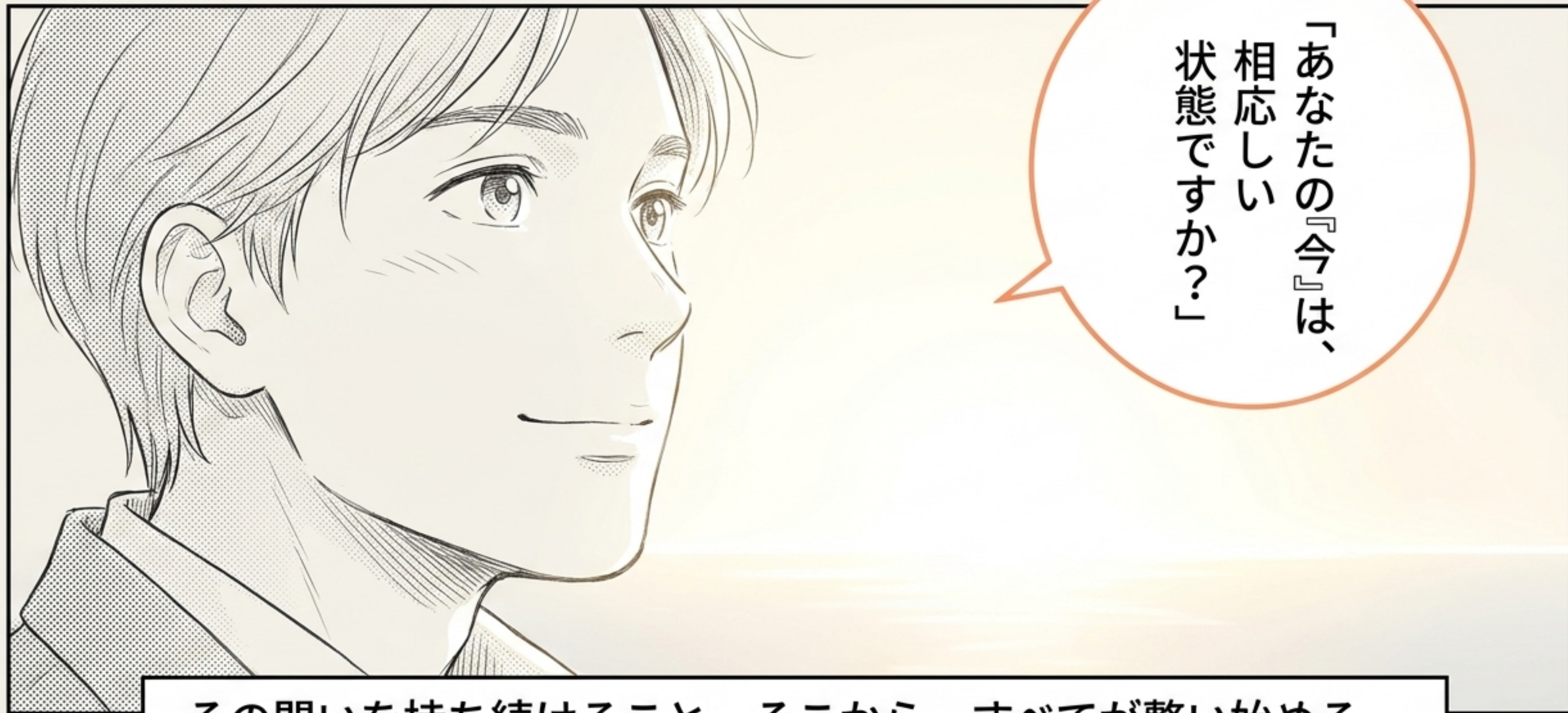
TAOISMという「整える思想」

徳を磨き、自分を整え、共同体と共に歩む。



相応しさが整うと無理が消える。すべてが正しい位置に収まっていく、これがTAOISMの教え。

人生を整える第一歩



「あなたの『今』は、
相応しい
状態ですか？」

その問いを持ち続けること。そこから、すべてが整い始める。